

各 位

2022年3月17日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

重版出来『焚き火の本』に続く、
焚き火マイスター渾身の脱力系道具本
『焚き火と道具』
2022年3月19日に刊行！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2020年9月刊行の『焚き火の本』の第2弾として、各種メディアで焚き火マイスターとして活躍する猪野正哉氏の『焚き火と道具』を刊行する。

■本邦初の焚き火道具学本！

「着火剤は邪道と言われても私はバンバン使う」

焚き火マイスターの言葉には脱力する。焚き火愛好家ならファイヤースターターでこだわりを見せるべき着火のシーンでは、あっさりチューブ入り着火剤を絞り出す。

かと思えば、古道具屋で骨董品の串を、ホームセンターで床下換気口を発掘し、焚き火道具の仲間に引き入れられたりと、常人には真似のできないこだわりを見せる。

焚き火にまつわる道具を愛する人にぜひとも読んでほしい、こだわりと脱力の道具学。

■内容

第一章 基本の焚き火道具

＜ムラコ＞サテライトファイヤーベース／＜キャプテンスタグ＞ファイア
マックス着火剤・・・etc

第二章 火を充実させるための道具

＜テッパ＞薪割鉈守門／＜セイドー＞薪割り職人・・・etc

第三章 仲間と火を囲むための道具

＜パウルー＞サンドイッチトースターダブル／＜ニトリ＞スキレット鍋 19cm・・・
etc

第四章 なくてもいいけど、こだわりの道具

＜喫茶店やスナックのノベルティ＞マッチ／＜自作＞バトニング棒・・・etc

焚き火お悩み相談

Lesson1.はじめからいろいろ買ったほうがいいですか？・・・etc



■本書より抜粋

～はじめに～

主役の炎がきれいに燃えれば燃えるほど、道具は存在感を消していく。おいしいところは、すべて焚き火に持っていかれてしまう。

だから本書では、焚き火の名脇役たちにスポットライトを当ててみた。どの道具にも選んだ理由がある。焚き火の記憶は、一緒に火を焚いた仲間や道具との思い出でもある。そんな私と焚き火と道具とのエピソードが、あなたの焚き火道具選びの参考になれば嬉しい。

～<バウルー>サンドイッチトースターダブル～

本来の使い方なんて無視してもいいでしょう。

最近は横着に拍車がかかり、これ一台で炒め物もするようになった。(中略)私の場合、アウトドアで繊細な味は求めておらず、食材に火が通ればOKとしている。

■本書について

書名:『焚き火と道具』

著者:猪野正哉

価格:1980円(本体1800円+税10%)

判型:A5版 176ページ

ISBN978-4-635-50045-6

<https://www.yamakei.co.jp/products/2822500450.html>

■著者プロフィール

猪野正哉 (いの・まさや) 焚き火マイスター／日本焚き火協会会長／アウトドアプランナー。雑誌でライターやモデルとして活動し、フジTV『石橋、薪を焚べる』の焚き火監修も手がける。TBS『マツコの知らない世界』の「焚き火の世界」に出演。著書に『焚き火の本』(山と溪谷社)。



著者へのインタビュー等、喜んでお受けいたします！

お気軽にご連絡ください！

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。

さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479)を
持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・
鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテ
ンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：五十嵐

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>